

薬師丸ひろ子さんが、デビュー四十周年を記念してこの秋にコンサートツアーを開催しており、香川での公演チケットを購入した。薬師丸さんと言えば、映画『セーラー服と機関銃』の中で機関銃を乱射するシーンはとても印象的だ。同名の曲も大ヒットした。当時、中学生だった私は友達と映画館へ足を運んだ。平凡な女子高生が弱小ヤクザの組長を襲名し、組員を守ろうと敵陣に乗り込み機関銃をぶっ放すという衝撃的なシーンには、驚きと憧れを抱いたものだ。しかし、話の内容はよく覚えていない。

家ではコンサートに備えて、薬師丸ひろ子さんのアルバムを聴いている。そこで、私の好きな歌詞の一部を紹介させていただく。

「すこしだけやさしく」（作詞：松本隆）

少しだけ優しくしてあげる
もしも心に怪我をしたなら
淋しさって包帯で縛ってあげる
少しだけ優しくしてあげる

「夢で逢えたら」（作詞：大瀧詠一）

夢でもし逢えたら素敵なことね
あなたに逢えるまで眠り続けたい

なんともロマンティックな歌詞たちである。懐メロは昔を懐かしく思い出させ、平凡な日常に色を添えてくれる。私はおばさんになっても、ずっと夢見る少女でいたい。そして、薬師丸ひろ子さんのような透明感を持ちながらも、ミステリアスな女性になりたいなあと思う今日この頃である。